

まちかどニュース

身近なイベントや、まちかどの話題を皆さんから募集しています。

清瀬市障害者計画・障害福祉計画策定委員会が市長へ答申

2月19日、清瀬市障害者計画・第5期障害福祉計画策定委員会から渋谷市長に障害福祉系3計画について答申が提出されました。3計画は地域の障害福祉施策に関する基本的な方針を定めるとともに、障害福祉サービスの提供に関する具体的な目標数値を設定するものです。委員会では、障害のある人もない人も共に支え合い、安心して暮らせる共生社会の実現に向けて検討し策定を行いました。



右から田上副委員長、渋谷市長、植村委員長

がんばりすど

各種大会で優秀な成績を収めた方・団体を紹介します。

市内の農業者の方々が受賞

- ◆平成29年度農業功労者感謝状 村野勲さん(上清戸)
 - ◆第57回企業的農業経営顕彰 個人複合の部東京都農業会議会長賞 土屋俊章さん(下清戸)
 - ◆第57回農業後継者顕彰 東京都都知事賞・東京都農業会議会長賞 横山直樹・俊さんご夫婦(中清戸)
 - ◆平成29年度 北多摩地区農業委員会連合会優秀農業経営者表彰 田中一男さん(中清戸)
- 受賞された皆さん、おめでとうございます。



右から村野勲さん、横山直樹さん・俊さん



土屋俊章さん



田中一男さん

第19回清瀬市スーパードッジボール大会結果

2月3日・10日に、毎年恒例のスーパードッジボール大会が市民体育館で開催されました。どの試合も大声援が巻き起こり、熱戦が繰り広げられました。

試合結果は下表のとおりです。入賞したチームの皆さん、おめでとうございます。



3・4年生の部優勝 天使のいれぱっち



5・6年生男子の部優勝 ハム太郎ズ



5・6年生女子の部優勝 KSG

部門	優勝	準優勝	第3位
3・4年生の部 (33チーム/275人)	天使のいれぱっち (十小)	帰って来たガンマン(芝小)	チームジャスティス(八小) 十小モンキーズ(十小)
5・6年生男子の部 (18チーム/148人)	ハム太郎ズ (芝小)	Dr.マッシュ (三小)	ジョーダンハンバーグ(十小) ピスタチオ(清明小)
5・6年生女子の部 (11チーム/87人)	KSG (清小・十小)	記セブンII (七小)	担任の先生まさかの美人!!! (三小) スヌーピーズ(三小)

4月から市役所の組織を一部改正「教育部指導課」の係体制を変更します

市では、第4次清瀬市長期総合計画の着実な実行を図り、効率的・効果的な行政体制を確立するため、4月に組織の改正を行います。今回の改正では、「教育相談係」を教育部指導課内に新設し、現行の8部38課70係から、8部38課71係に体制を改めます。

問合せ 企画課企画調整担当 ☎042・497・1802

3本の木とともに

2月、私が幼稚園長時代の卒園児同士の結婚式に呼ばれ、3月には花婿が卒園児、4月にも花婿が卒園児の結婚式に呼ばれています。さらに、4月・6月には、卒園児3家族の出産予定があります。加えて今年の元旦には、私の娘、弟の娘が入籍しました。まさに、「喜べば喜び事が喜んで喜び連れて喜びに来る」そのものです。

そして、3月3日は、子育て介護・家族まるごと支援のNPO法人ピッコロが参加する「関東エリアホームビジター交流研修会」に呼ばれました。

ホームビジターとは赤ちゃんを授かった家庭の要望に応じて、親体験を持つ先輩達が研修を受けた後、ボ

ランティアで子育て支援に行く制度です。イギリスが発祥ですが日本に初めて取り入れたのは清瀬の「ピッコロ」です。

有難いことに、ピッコロ誕生とほぼ同じ時期に助産師さん達を中心となつて立ち上げた子育て支援のNPO法人「ウイズアイ」もあります。だから、日経BP総研の自治体子育てランキングで清瀬は全国で何と！13位に入っています。

さて、研修会には2時間ほど参加しましたが、山梨、千葉、神奈川県や都内から集まった70数人の雰囲気がとてもよかったです。私は冒頭で【授かった命、生まれ出た命の親子を支援していくのですから、ホームビジターを私なりに表現すれば、まさに「天使のお手伝い」です。本当の少子化対策です。有難うございます】などと挨拶しました。

「おっぱいのうまみも、グルタミ

ン酸。手づかみ食も大事」などなど、栄養士さんの楽しく充実した研修内容でした。

ところで、手づかみ食は汚くありません。東京医科大学名誉教授藤田紘一郎博士の最新の本が『手を洗いつぎてはいけない 超清潔志向が人類を滅ぼす』です。その本に「腸は人体最大の免疫器官であり、免疫力の約七割を腸がつくっています。それを支えているのも腸内細菌の役割です。(中略)多様性に富む腸内フローラを築くには、(中略)生後一年のうちにどれだけ「バッチイ」ことができるかです」とあります。

8月に藤田先生に講演して頂きます。ノーベル賞の大村智教授の微生物から力を借りた話とピッタリです。

清瀬市長

渋谷 金太郎

清瀬 こども俳句

小・中学生の俳句を紹介するコーナー。ぜひご応募ください。
選評 石田波郷俳句大会実行委員会

制服が少し大きい入学式

〔評〕入学式。新生が整列して入場してくる。どの生徒も大きめの制服で、制服が歩いているみたいだな。去年のぼくを見ているようだ。でも、今年、ぼくの制服はぴったりになった。「入学式」が春の季節。

たんぽぽとわたしこの地にたどりつき

十小六年 西川凜

〔評〕作者は転校生でしょうか。春になって、足もとに黄色く咲いたたんぽぽを見つけました。「この花は、遠くからわた毛で飛んできて、この清瀬で芽を出し花を咲かせたのね。わたしといっしょだね」

さくらもちはつばのにおいたべました

八小四年 田中明日実

〔評〕さくらもちは、塩づけのさくらの葉っぱでくるんであります。多くのおとなは葉っぱごと食べますが、歯ざわりが気になる人はむいて食べます。作者もむいたのでしょうか。でも、かおりは楽しめました。

※今回の俳句は「第9回石田波郷俳句大会」ジュニアの部から。学年は大会時。

市民ルポルタージュ特別編

重要なのは安全・安心で健康に、「もっと関心を持つとう」

「渋谷市長の所信表明を聞いて」

3月1日から、平成30年清瀬市議会第1回定例会が開会し、初日に渋谷市長の所信表明が行われました。この所信表明を、市民編集委員の片寄明香さんに傍聴してもらい、これからの清瀬について思うこと・期待したいことを伺いました。

市役所の4階へ上がり、用紙に住所・氏名を記入し、初めての議会傍聴席へ。独特の雰囲気少し緊張しながら、席に座りました。

人それぞれ多少の違いはあると思いますが、生活するなかで重要なのは、安全・安心で、健康に過ごせることではないでしょうか。でもこれらは気になってはいても、特別な事が起こらない限りなんとなく毎日経過している事が多いように思います。

しかし一度目を向けると、もし今災害が起きたら市の対策はどうなっているのだろうか。子育て支援は？危険な道路の整備は？それらに対する市の予算は？いろいろなことが気になると思います。

所信表明を傍聴すると、災害時の備品の確保などの万全な対策、高齢者に多い振り込み詐欺や待機児童解消のための対策、子育てクーポン、健康ポイント事業の拡充、歩道拡幅整備工事計画など、気になることについての取り組みや予算について直接聞くことができました。

興味深かったのは、冒頭で市長が話された「日経BP総研」が発表した2つのランキングです。「シティブランド・ランキング」住みよい街2017で清瀬市は全国で31位。「自治体子育てランキング」では13位だということです。これはその街に住む人からの回答でのランキングなのだそうです。

清瀬市は小さなまちなので、市政への市民参画や地域課題への取り組みなど、市民と行政との協力をとおして、より良いまちづくりに向けて一人一人の声が反映されやすいのではないかと感じています。

今回の取材はとても良い体験になりました。市議会には市民生活に身近な問題を取り上げているので、私自身ももっと関心を持つべきだと感じました。機会があれば一般質問の質疑応答など、他の定例会も傍聴してみたいと思います。

ちなみに、所信表明の全文は、第1回定例会があった当日に清瀬市のホームページ内の「ようこそ市長室へ」に全文が載せられ、読むことができます。一度目をとおしてみてもどうでしょうか。